

講師紹介

神 聡子（じん さとこ）

看護師・環境アレルギーアドバイザー。看護師、高等看護学院講師を務めたのち、結婚。息子が小学校5年生のときにシックスクール症候群になり、「小樽・子どもの環境を考える親の会」を立ち上げる。現在は、会の運営、講演会、アレルギーや化学物質過敏症などの相談、行政への仲介・要望などに携わるかたわら、アレルギーや化学物質過敏症の方が買い物できる「絵本と環境雑貨の店ワオキツネザル」を経営。

2019年12月6日に「食と環境を考える札幌国際講演会」でアメリカのゼン・ハニーカットさん、元農林水産大臣の山田正彦さんと札幌市で講演を行った。

富塚 とも子（とみづか ともこ）

さっぽろ食まちネット 代表 1981年北海道大学農学部農業経済学科卒、81年株式会社東京エディターズ勤務、84年フリーライターを経て、87年株式会社イエローページ勤務、90年出産を機に退職。子どもがアトピーを発症したことから、生活の切実な問題として、食の安全・安心 や環境問題をテーマとした市民活動に参加。2007年から、市民として普通に暮らしていく中で直面するさまざまな生活課題を、コミュニティの力を活用して解決することを目的に情報収集、情報発信を行いながらまちづくりをすすめる市民活動グループ「さっぽろ食まちネット」を立ち上げ、代表として地域で活動。福島第一原発事故後、さっぽろ市民放射能測定所 はかーる・さっぽろ 代表。

西尾 正道（にしお まさみち）

北海道がんセンター 名誉院長、日本医学放射線学会 放射線治療専門医、日本放射線腫瘍学会 名誉会員、日本頭頸部癌学会 名誉会員、日本食道学会 特別会員

札幌医科大学を卒業後、国立病院機構北海道がんセンター（旧名：国立札幌病院・北海道地方がんセンター）放射線科に39年間務め、2013年に同院名誉院長に就任。「市民のためのがん治療の会」を設立させ、常にひとりひとりの患者と向き合ってきた数少ない放射線治療医。また、手術室に入り外科治療と連携した小線源治療も行う。放射線治療を啓発している医師としても名高い。